

その他のぬまづの宝 100 選

○ダルマタ日



12月20日前後の日没が早い時期の晴れた日に、沼津御用邸記念公園前の島郷海岸から大瀬崎沖の海に没する夕日を眺めると、水平線に夕日が反射する素晴らしい光景を見ることができます。この光景は「ダルマタ日」と呼ばれています。

「ダルマタ日」は、海水温が高いこと、気温が低いこと、晴れた日等の条件が整わないと見ることはできないと言われています。

○三浦地区のリアス式海岸

静浦・内浦・西浦の海岸線は起伏や変化に富んでいて、淡島のほか小島、岩礁の景観と重なり、魅力にあふれています。西伊豆へ向かう海岸沿いのドライブコースとしても人気があります。

○沼津方式（ごみの分別収集）



今や全国で行われるごみの分別収集を、沼津市では昭和50年に始めました。多くの人がごみの捨て方に無関心だった当時、沼津市民は、ごみも分ければ資源に

なることに着目し、全国に先駆けて環境にやさしいまちづくりに取り組み、現在に至っています。

○戸田の漁師踊・漁師唄

漁師唄の中でも格式の高い「御船（せきふね）唄」や、船上で行う芸能の「鯨突き踊り」などを今に伝える風習です。県指定無形民俗文化財となっています。

○深海魚料理



世界有数の深さを誇る駿河湾より水揚げされる深海魚を使った料理を沼津港や深海に一番近い「戸田」の食事処・旅館などで味わうことができます。

○タカアシガニ



足を広げた長さが3mに及ぶ、駿河湾で獲れる世界最大のカニです。戸田港は有数の水揚げを誇ります。戸田地区の様々な食事処、旅館などでタカアシガニの料理を味わうことができます。

○あしたか牛



「あしたか牛」は、愛鷹山麓の裾野に広がる広大な緑地で、統一された飼料や厳しい管理のもと、丹精込めて肥育された高品質な牛で、牛肉は豊かなこくのある風味が特徴です。

○沼津茶（ぬまづちゃ）



お茶王国・静岡の一翼を担う「沼津茶」は、幕末期に江原素六によって礎が築られました。温暖で豊かな自然にまつまれた愛鷹山麓を中心に栽培され、毎年4、5月の茶摘みは沼津の風物詩となっています。「沼津茶」は煎茶、深蒸し茶、ぐり茶などが生産され、農林水産大臣賞など多くの賞を受賞しています。

○泉水源地



泉水源地は本市水道水の最大の水源地で、拠点的施設です。深井戸などから取水した水を滅菌して配水池や直接家庭に圧送しています。また、泉水源地のある柿田川湧水群は東洋一の湧水量（1日あたり約100万トン）を誇り、近代水道百選（昭和60年厚生省）や日本の名水百選（昭和60年環境庁）に選定されるなど、日本国内でも貴重な財産として挙げられています。

○へだトロはんぺん



地元で「トロボッチ」と呼ぶめっひかりやメギスなど、地元のトロール漁船でとれた深海魚のすり身に、タコやエビなどを練り込んださつま揚げです。戸田地区発のご当地グルメとして人気を博しております。

現在開催されていないもの、入ることができないもの

○旧三津坂隧道

旧天城トンネルより8年早い明治29年に竣工したトンネルです。全長は約175m、幅3.6mで、井上靖の「しろばんば」に登場します。

(現在入ることができません。)

○江ノ浦湾花火大会



江浦湾で開催される花火大会には、地元住民だけではなく近隣市町からも多くの観光客が訪れ、花火の美しさを堪能しています。(現在開催されていません)